

## 追悼

### 弁護士生活のよき師、よき人生の相談者

——石井嘉夫先生を偲ぶ

会員 神谷 咸吉郎

石井嘉夫先生は2005（平成17）年6月30日、91歳で逝去されました。

先生は中央大学の司法試験研究室の玉成会の先輩で、1953（昭和28）年、私は先生のご指導により司法試験に合格し、東京弁護士会にも入会し、先生が創立者の一人である同会の派閥の春秋会に入会し、先生は私の50年の弁護士生活のよき師であり、よき人生の相談者でありました。

先生は1914（大正3）年に静岡県引佐郡三ヶ日町に生まれ、戦前旧制の中央大学の予科を経て、法学部を卒業し、1942（昭和17）年高等文官司法科試験に合格され、旧満州国の新京地方検察庁に勤務し、終戦時、中国からの日本人の引揚事業に挺身されました。

戦後、先生は弁護士試補を経て、1947（昭和22）年東京弁護士会に入会され、今は亡き赤坂正男、山本忠義、藤井英男三氏ら僅か8人で新憲法下の青年弁護士を結集し、東京弁護士会春秋会（法友会8部）を創立されました。殊に先生は物心ともに後輩の面倒をみられ、同会は400人を超える一大会派となりました。

先生は弁護士会における数々の各種委員会の委員長

をなされ、殊に東京弁護士会の会長、日本弁護士連合会の副会長など幾多の要職にもつかれました。更に公職として法制審議会委員、司法試験管理委員、簡裁判事選考委員を歴任し、司法はもとより行政にも多大の貢献をなされ、1984（昭和59）年に勲三等瑞宝章を受章されました。

先生の性格は温厚で義理人情に厚く、人の面倒見もよい方でした。

また裁判所の書記官の方とも私どもを交えて麻雀会を定期的に催したり、弁護士会の事務局職員にも慕われること絶大でした。

なお、先生は家庭内では人一倍妻子や孫思いの方であり、事務所では稲田寛、中村浩紹両弁護士をはじめ、多くの優秀な門下生を輩出し、井上勝義弁護士は二女の婿であります。

私は先生のおかげで今日あるものと思います。先生と飲食をよくともにし、何時も私どもの話を聞きながらニコニコしておられた姿が思い出されます。

私にとって先生は生涯の恩師であります。心から御冥福をお祈りし、合掌。



故 石井嘉夫会員  
2005年6月30日ご逝去・91歳  
1977年度東京弁護士会会長